

鹿児島市放課後児童健全育成事業実施事業者評価基準(大明丘小学校区ほか)

評価項目		評価内容	配点
大項目	小項目		
1. 育成支援の内容	① デイリープログラム	子どもが放課後等の時間を自己管理できるよう、室内遊びや屋外遊び、おやつ、自主的な学習活動等、遊びや生活内容ごとの生活時間の区切りが作られており、その中で、手洗いやうがい、持ち物の管理や整理整頓等の基本的な生活習慣を身に付けられるよう計画されているか。	24点
	② 年間行事(特色ある行事の実施)	年間行事は、子ども達の生活の節目に行う行事や季節の行事等、適切な行事数が予定され、その中に地域の様々な人々との交流や、地域の公共施設等の積極的な活用により、地域の文化等に触れる等の特色ある行事が計画されているか。	
	③ 育成支援のための環境整備	児童の受け入れ前に、児童の活動場所の安全点検と環境整備を行う計画となっているか。なお、安全点検は、点検個所のチェックリストの作成が予定されているか。(例 安全点検外遊び時の遊具等の点検、環境整備:日々の清掃や、おやつの時間前のテーブル等の準備)また、日々の子どもの状況や育成支援の内容等を記録する計画となっているか。	
	④ おやつを提供	保護者が負担するおやつ代等の費用に配慮するとともに、安全及び衛生管理に万全を期した計画となっているか。また、食物アレルギーのある子どもの把握方法や、その場合のおやつ提供方法と、万一、症状が現れた場合、マニュアル等に基づく対応が計画されているか。	
	⑤ 障害のある児童の受入	障害のある子どもを受け入れる際に、事前に子どもや保護者と面談の機会を持つなどして、健康状態、発達の状況、家庭の状況等を把握し、受入れる計画となっているか。	
	⑥ 保護者との連携	保護者と連携して育成支援を行うために、保護者が児童クラブでの子どもの状況や活動内容を適切に理解できるよう、複数の手段で連絡・情報交換することが計画されているか。	
2. 運営	⑦ 職員体制	職員配置について、開所時間中の電話対応や連絡帳の確認と記入、おやつ準備等のほか、室内・室外など複数の場所での様々な活動に対する育成支援が可能な計画となっているか。また、職員が休暇を取得できるようバックアップ体制が整った計画となっているか。	12点
	⑧ 開所時間	開所時間は、午後6時を超える計画となっているか。	
	⑨ 保護者負担金(利用料)・延長料金	保護者負担金・延長料金の設定に妥当性があるか。(保護者負担金は、概ね運営費の1/2の金額となっているか。延長料金の積算根拠。)	
	⑩ 適切な会計管理及び情報公開	適切な会計管理を行う体制(会計担当者の配置や定期的な検査)が計画されているか。また、決算時には、会計担当者以外の者の監査を受け、保護者等に結果を情報公開する計画となっているか。	
3. 学校及び地域との関係	⑪ 学校、地域、関係機関との連携	小学校や、町内会・民生委員・児童委員等の地域組織、保健医療機関等の関係機関との情報交換や情報共有が可能な体制となっているか。	8点
	⑫ 近隣への配慮	児童クラブの設置について、近隣住民の理解を得るための具体的方策(住民説明会の開催、近隣住民の個別訪問等)が計画されているか。	

評価項目		評価内容	配点
大項目	小項目		
4. 施設及び設備、衛生管理及び安全対策	⑬ 施設の利便性	公園や広場が近くにあるなど、児童が屋外で遊ぶ環境に十分配慮した場所に位置しているか。	19点
	⑭ 設備・備品等	手洗い場、台所設備、トイレ等のほかに、体調の悪い時等に静養できるスペースの確保や、一人一人に専用のかばん棚や靴箱が設けられる計画となっているか。	
	⑮ 衛生管理・安全対策	設備等の衛生管理や感染症等の予防対策・発生時の対応や、事故やケガが発生した場合の対応について考えられているか。	
	⑯ 防災対策・防犯対策・緊急時の対応	災害の発生に備えて具体的な計画又はマニュアルの作成、消火器等の必要な設備の整備、定期的な訓練の実施等の対応が計画されているか。また、外部からの不審者等の侵入防止のための措置や訓練の実施等の対応が計画されているか。	
	⑰ 来所・帰宅時の安全性	児童が安全に来所・帰宅できるように、施設は学校周辺に位置しているか。(児童が徒歩で学校から施設へ移動する距離) また、安全確保のための取り組みが計画されているか。	
5. 職場倫理及び事業内容の向上	⑱ 個人情報の保護	個人情報の保護について、具体的な運用や対応が定められているか。	12点
	⑲ 利用者等からの要望や苦情への対応	子どもや保護者、地域住民等からの要望や苦情に対して、迅速かつ適切な対応を行うための体制(要望・苦情の受付窓口の設置)と、体制の周知方法が計画されているか。	
	⑳ 人材育成	人材育成のため、職場内での研修のほか、職場を離れての研修等、適切な研修の機会を確保する計画となっているか。	
	㉑ 自己評価	運営の内容について、自己評価を行い、その結果を公表することが計画されているか。	
6. 事業の実績、財務面の健全性	㉒ 事業の実績	これまでに児童クラブや児童福祉事業等の運営実績があるか。	10点
	㉓ 収支予算	収支予算書は安定した経営基盤となっているか。	
7. 総括	㉔ 運営の基本方針	児童の権利に関する条約等に規定する「子どもの最善の利益」を考慮するとともに、一人一人の人格を尊重した基本方針となっているか。また、児童クラブの運営に対する考え方が、児童の健全育成に資するものとなっているか。	15点
	㉕ 現実性	提案された内容を踏まえた運営が可能であると見込まれるか。	
	㉖ 責任感・意欲	企画提案の内容等から、運営に対する責任感と意欲が感じられるか。	
合計			100点